

国際小児がんデー 2018 啓発キャンペーン報告書

2018.2.1～3.31



CCAJ

公益財団法人 がんの子どもを守る会

Children's Cancer Association of Japan

後援：厚生労働省

がんの子どもを守る会は、1968年に小児がんで子どもを亡くした親たちによって設立され、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの患児・家族を支援しようという趣旨のもと活動している団体です。

毎年2月15日は「国際小児がんデー」です。

International Childhood Cancer Day

毎年世界中で25万人もの子どもたちががんと診断され、

そのうちのおよそ9万人の子どもたちが幼い命を奪われています。

こうした厳しい現実を知ってもらう目的で、国際小児がんの会（CCI*）は、毎年2月15日を「国際小児がんデー」とし、2002年以来、世界中の団体と連携してさまざまなキャンペーンやイベントを実施しています。

当会もこの趣旨に賛同し、毎年この時期に「国際小児がん月間」を設け、小児がんに対する理解と支援の輪が広がることを目指して、本部・支部、会員、ボランティア、支援者が一体となり、全国一斉に小児がん啓発キャンペーンを展開しています。

小児がんの医療が向上し、療養環境が一層整備されていくことを心から願っています。



*CCI（Childhood Cancer International）とは・・・



世界中の小児がん患者が最善のケアを受けることができるように、情報や経験を分かち合うことを使命として設立された連盟です。現在、90か国から181の親・経験者の会が加盟しており、国際的なネットワークを築いています。

がんの子どもを守る会は、世界で最も歴史のある小児がん親の会として1997年より加盟しています。

イベントなど

〔がんの子どもを守る会の本部・支部が主催したものと他の機関が主催したものと併記しております〕

〈案内チラシより↓〉

国際小児がんデー 2018

小児がん啓発キャンペーンを全国で展開予定です。お近くの会場がありましたら、ぜひお立ち寄りください!!

後援：厚生労働省

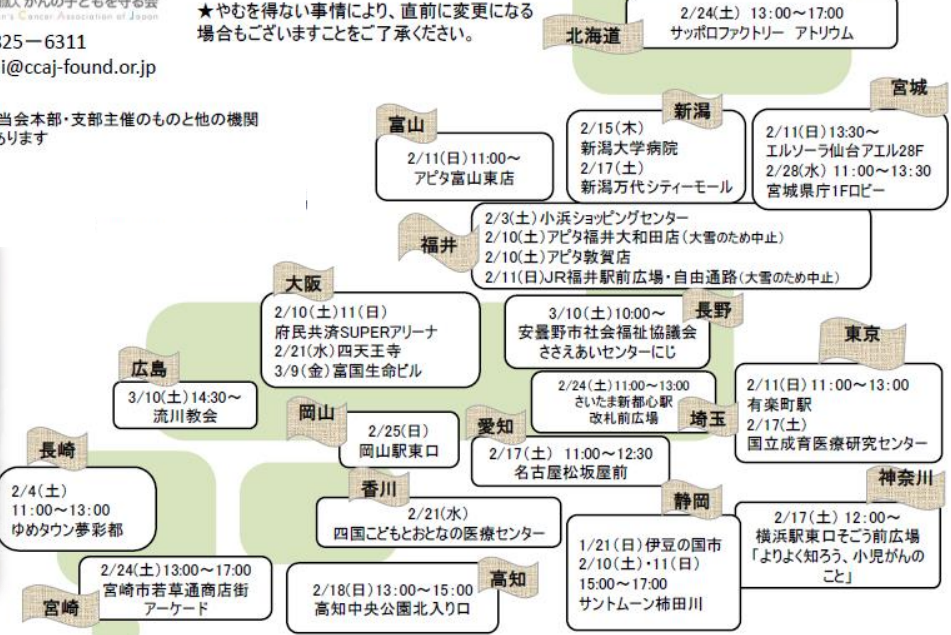
★詳細な情報は、スタッフブログ
(<http://blog.canpan.info/nozomi/>)
をご確認いただくか、お問い合わせください。

発信 **CCAJ**
公益財団法人 がんの子どもを守る会
Children's Cancer Association of Japan

電話：03-5825-6311
email: nozomi@ccej-found.or.jp

(注)掲載の活動は当会本部・支部主催のものとの機関が主催するものがあります

★やむを得ない事情により、直前に変更になる場合もございますことをご承知ください。



	1月	2月	3月
富山	2/1~15 みやの森カフェ(砺波) 2/1~2/7 富山福祉短期大学		
福井	1/27~2/17 本馬医院(福井) 1/28~2/16 小浜市役所 1/29~2/19 敦賀市役所 2/1~2/28 福井県済生会病院 1/29~2/19 市立敦賀病院		
岡山	1/5~2/28 岡山市立中央図書館 2/1~2/28 岡山大学病院	2/1~2/28 国立成育医療研究センター 2/17~23 東京ドーム 世界らん展2018	3/15~17 文京区シビックセンター<絵画展> 3/1~14 埼玉小児医療センター
愛媛		2/15~3/15 いのうえ小児科(愛媛) 2/9~2/23 福岡県庁ロビー	2/28~3/2 岡山県庁
九州地区	1/29~3/9 鳥栖市保健センター/小竹町役場/飯塚信用金庫/飯塚市役所/嘉麻市役所/桂川町役場/小郡市図書館/あいろん/福岡市役所/北九州市役所/九州大学病院/九州がんセンター/アフラック代理店/他 2/1~2/28 大分県立病院 2/1~2/28 大分市役所種田支所 1/22~2/28 大分県立図書館 2/1~2/28 大分大学医学部附属病院		

小児がんに関連する常設展示など
小児がんの資料展示、ゴールドリボンで装飾したツリーの展示、小児がんの子どもたちが描いた絵画/パネルの展示などがあります



活動の様子

がんの子どもを守る会の本部・支部が主催したものと他の機関が主催したものと併記しております

公共施設や病院、ショッピングモールの一角を使って、小児がんの子どもたちが描いた絵画のパネルや小児がんの資料展示、イベントを行いました。一般の方が多く立ち寄る場所での常設展示は、小児がんの認知度向上に一役買ってくれたことと思います。



今年で3回目となりましたが、12万人が来場した「世界らん展2018」にブース出展(東京ドーム)



福岡県庁でのロビー展



横浜駅東口地下そごう前で「みんなで知ろう小児がんのこと」(主催:神奈川県立子ども医療センター小児がんセンター)



東京都文京区のシビックセンターで絵画展開催



福島医大病院1階で小児がんデーキャンペーンを開催



埼玉小児医療センターでの啓発展示



神奈川県大和市立図書館での小児がん図書特集展示



国立成育医療研究センターで小児がん交流フェスタ2018での啓発展示



東京都立小児総合医療センター前のバス停にバナーを付けていただきました



駅や街頭、ショッピングモールなどで、啓発チラシやポケットティッシュの配布、募金活動を行いました。

また、各地で、小児がんについて考えるシンポジウム、講演会なども開催し、小児がんの現状や当会の活動を紹介し、患児・家族の抱える問題などに触れ小児がんへの理解を呼びかけました。



高知支部での啓発活動。たくさんの方にご協力いただきました。



大阪の四天王寺さまのご協力により境内で募金・啓発活動



長崎ゆめタウン夢彩都前での募金・啓発活動



神戸フィルハーモニック ニューイヤーコンサートでの募金・啓発活動



新潟大学病院での啓発活動



福井県のアピタ敦賀店にて街頭啓発活動。高校生のみなさんにご協力いただきました



四国こどもとおとなの医療センターでの啓発活動



ノバルティスファーマ(株)さまでの啓発講演会



モルガンスタンレーさまのご協力による啓発活動(スターボックスにて)



明治安田生命保険相互会社さまでの啓発講演会

ご協力いただいたイベントなど

世界らん展2018、小児がん交流フェスタ2018(国立成育医療研究センター)、神戸フィルハーモニーニューイヤーコンサート2018、あんさんぶる七のおとNana-note、大阪エヴェッサ(vs栃木ブレックスの試合)、他

ゴールドリボンツリー

ゴールドリボンツリー(小児がんのシンボルである「ゴールドリボン」で装飾したツリー)が地域でも広がり、ツリーが賑やかに装飾されたり、応援メッセージがたくさん寄せられたりするなどの反響がありました。



岡山大学病院。温かいメッセージもいただきました



鹿児島県の会員さんのご尽力で県内15か所に設置することができました



敦賀市役所1階市民ホール



岡山中央図書館での展示



アフラックマリナタウン店(九州)



埼玉県立小児医療センター



あんさんぶる七のおとNana-note
チャリティーConcert(広島)



福井済生会病院



福井県嶺南地区:
小浜市役所／敦賀市役所／敦賀病院
／小浜市本馬医院

今回で5回目のキャンペーンとなりますが広く全国に小児がん啓発をするために、当会本部・支部が一丸となり早くから多方面に協力を呼びかけました。おかげさまで、2018年2月1日～3月31日のキャンペーン期間中に3,562,345円の募金・寄付が集まりました。集まった募金・寄付は小児がんの子どもや家族のために活用するとともに、その一部は、CCIを通じて発展途上国の小児がん医療向上に役立てていただきます。

啓発・チャリティグッズ

ゴールドリボンバッジ



本年は、チャリティチョコレートを中心に啓発・チャリティグッズを頒布し、会報誌やリリース等でご紹介したところ、大変多くのご協力をいただきました。

オリジナルチョコレート 約5,000個
 ゴールドリボン(バッジ&ストラップ) 約650個



ポストカード



啓発ポケットティッシュ



チャリティチョコレート



オリジナル風船



ゴールドリボンは小児がん支援の国際的なシンボルマークです。

ご存じですか？ 小児がんのこと

- 日本では、年約2,000人の子どもたちが新たに小児がんと診断されています。
- 種類によっては7～8割が治療を終えられますが、年約500人の命が失われています。
- 大人のがんと異なり、生活習慣に起因するものではありません。
- 長期の療養が必要となり、学校や家庭など生活面に様々な影響があります。
- 治療を終えた後も、心身に課題を抱え、自立や就労に困難を伴う場合があります。

公益財団法人がんの子どもを守る会(CCAJ)は、1968年の創設以来、小児がんの療養として、小児がんの子どもと家族を支える活動を続けています。



チャリティチョコレートに添えた啓発カード



ボランティアさんたちの手で一つ一つ丁寧にパッケージ



2月15日は国際小児がんデーです。
 世界で小児がんの子どもたちのための支援を呼びかける活動が展開されています。

子どもにもがんがあります。
 ご存じですか？ 小児がんのこと

- 日本では、年約2,000人の子どもたちが新たに小児がんと診断されています。
- 種類によっては7～8割が治療を終えられますが、一方で子どもの病死原因の第1位であり、年約500人の命が失われています。
- 大人のがんと異なり、子どもに発生するがんは稀少で、生活習慣に起因するものではありません。
- 長期の療養が必要となり、学校や家庭など生活面に様々な影響があります。
- 治療を終えた後も、心身に課題を抱え、自立や就労に困難を伴う場合があります。

公益財団法人がんの子どもを守る会(CCAJ)は、1968年の創設以来、小児がん療養、家族の救済として、がんの子どもと家族を支える活動を続けています。

A4サイズ啓発チラシ／キャンペーン申込書
 A2サイズ啓発ポスター

取りあげていただいた主なメディア

南日本新聞、毎日新聞、MBC放送、フレンズFM、西日本新聞、CATV(敦賀市)、新潟日報、山陽新聞、福井新聞、日刊県民福井、あいTV(愛媛県)、河北新報、等



西日本新聞(1月30日)



CATV(敦賀市)1月29日



日刊県民福井(2月3日)



新潟日報(2月16日)



あいTV(愛媛県)



CATV(敦賀市)



山陽新聞(2月16日)



福井新聞(2月2日)

ご協力いただいた行政機関、公共施設、病院、企業など(一部: 順不同・敬称略)

宮城県庁、文京区、岡山県庁、福岡県庁、小浜市役所、敦賀市役所、福岡市役所、飯塚市役所、嘉麻市役所、北九州市役所、桂川町役場、小竹町役場、国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センター、神奈川県立こども医療センター、福島県立医科大学附属病院、福井県済生会病院、市立敦賀病院、本馬医院(福井)、埼玉小児医療センター、新潟大学病院、岡山大学病院、いのうえ小児科(愛媛)、大分県立病院、大分大学病院、四国こどもとおとなの医療センター、九州大学病院、鹿児島大学病院、メディボリス国際陽子線治療センター、鹿児島県民総合保健センター、日本小児血液・がん学会、日本小児看護学会、日本小児外科学会、日本小児がん研究グループ、四天王寺(大阪)、大和市立図書館(神奈川)、株式会社FortuneKK、資生堂株式会社、日本チャールス・リバー株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、明治安田生命保険相互会社、アフラック福岡総合支社、富山福祉短期大学、みやの森カフェ(富山)、小浜ショッピングセンター、アピタ福井大和田店、アピタ敦賀店、アピタ富山東店、サントムーン柿田川、ゆめタウン夢彩都、宮崎市若草通商店街、福井本丸ライオンズクラブ、サッポロファクトリーアトリウム、岡山市立中央図書館、鹿児島市立図書館、福井県立若狭高等学校JRC部、敦賀気比高校インターアクトクラブ、私立土佐高等学校インターアクト部、あんさんぶる七のおとNana-noto、アーバイン京都清水五条、かごしまメルヘン館、他多数。

(活動場所をご提供いただいた施設さま、他ご協力いただきました皆さま全てを掲載できず大変申し訳ございません)。

公益財団法人 がんの子どもを守る会

本部 〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12
TEL: 03-5825-6311 FAX: 03-5825-6316

大阪事務所 〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺2-3-1
TEL: 06-6263-1333 FAX: 06-6263-2229